

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事 高橋 賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市渋川町三丁目5番地7
(渋川福祉センター内)
TEL 0561-51-2878

生まれ変わる
スポーツの聖地
神宮外苑

二〇二〇年東京五輪に向けて建設中の新国立競技場を皮切りに神宮外苑エリアの再開発計画が進んでいる。
世界に誇るスポーツの一大拠点として、このエリアが今後どのように変化していくか。注目が集まっている。
さまざまな歴史が刻まれ、プロだけでなくアマチュアや市民の思いが残り、このスポーツの聖地が百年ぶりの大改造に動き出している。

一九六四年の東京オリンピックの会場として使われた国立競技場の遺構を

聖徳記念絵画館



2018/11/03

▲ 秋には黄金色に染くうらやま木橋 樹齢100年を超え。

初めに、少施設が集まる神宮外苑地区のまちづくりが動き始めた。



2018/11/03



2018/11/03

▲ 明治神宮野球場 31年春の遷移高校、東京都立高校を観戦する。

明治神宮外苑は、市役所、明治神宮、新宿御苑と緑が連続する場所です。更に大規模な通りなど、西側の緑を広げていきます。また、施設ごとに併せて左へで仕切り、同遊性に乏しい現状を開放的に施設と広場をつなげて、憩える場所にする。老若男女が乗り、世界に誇るスポーツ文化の拠点となる。

▼ 59年前の思い出。

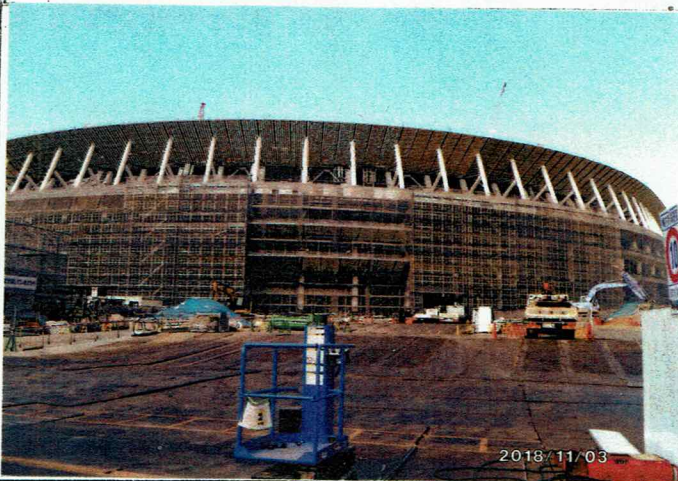


2018/11/03

二〇二〇年東京オリンピック建設中、国立競技場。柱は木づくりが楽しまれた。



2018/11/03



2018/11/03